CONTENTS

mouse computer

はじめに

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくための項目を記載しています。

チェックポイント
- ☑安全上のご注意を守る
- ☑万一異常が発生したらサポートセンターに連絡する

記載内容を守っていただけない場合、どの程度影響があるかを表しています。

警告　人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

注意　人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。

一般禁止
その行為を禁止します。

火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。

ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

本体使用上の警告

警告

■ 煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災、やけど、感電の恐れがあります。

■ 雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、USB ケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。

落雷による感電の恐れがあります。

■ ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所へ保管してください。

窒息事故などを起こす恐れがあります。

■ 不安定な場所に置かないでください。

転倒、落下等によりけがをする恐れがあります。

■ 本機を改造、分解しないでください。

感電、発煙、発火の原因になります。

■ 本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発熱、発火、破裂の原因になります。

■ 本製品の内部に次のような異物を入れないでください。

・金属物

・水などの液体

・燃えやすい物質

・薬品

回路がショートして火災の原因になります。

■ 装置の通風孔をふさがないでください。

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因となることがあります。

電源、電源コード使用上の警告

警告

■ **電源は AC100V (50/60Hz) を使用してください。**

異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

■ **電源コードを取り扱う際は、次の点をお守りください。**

・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
・つけ根の部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所で使用しない

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

■ **破損した電源コードは使用しないでください。**

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が加熱し、火災や感電の原因になります。

■ **電源コードのプラグにほこりがたまったままの状態で本機を使用しないでください。**

火災の原因になります。

■ **電源コードは装置添付のものを使用し、そのプラグを壁や床に設置されている定格 100V のコンセントに直接差し込んでください。**

延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因となることがありますので十分ご注意ください。

■ **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが加熱し、火災の原因になります。

■ **長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。**

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

本体使用上の注意

注意

■ **本製品を次のような場所で使用・保管しないでください。**

・風呂場など湿気の多い場所

・料理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一製品に液体がかかった場合は、電源をオフにしてサポートセンターにお問い合わせください。乾いているようでも内部に水分が残っていることがあります。

■ **CD/DVD ドライブのトレイが出た状態で使用する場合は、十分に注意してください。**

CD/DVD ドライブのトレイに強くぶつかったり、手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。

■ **CD/DVD ドライブは絶対に分解しないでください。**

故障、発熱、破損、感電の原因になります。

■ **CD/DVD ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こす可能性があります。

■ **添付の CD-ROM・DVD-ROM ディスクは、CD-ROM・DVD-ROM 対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーや CD-ROM・DVD-ROM ディスクを破損する原因になります。

■ **液晶ディスプレイ表面に傷をつけないでください。**

■ **液晶ディスプレイの表面や外枠部分を強く押さないでください。**

■ **液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。**

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で 15 分以上洗浄し、直ちに医師に相談してください。

■ **光センサーマウスの底面の光を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こす恐れがあります。

電源、電源コード使用上の注意

注意

■ **ぬれた手で触らないでください。**

電源コードが接続されているときにぬれた手で触ると、感電の原因になります。

■ **お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。**

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

健康上の注意

注意

■ **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

■ **キーボードやマウスを長時間継続して使用しないでください。**

目の疲れ、視力低下、腕や手首が痛くなることがあります。身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師に相談してください。

■ **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き差し、本機の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

本機取り扱い上の注意

■ 次のような場所では、使用／保管しないでください。

ホコリが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカー、温風式こたつなど）の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／夏の閉めきった自動車内
誤動作や故障の原因となることがあります。

■ 次の環境で使用してください。

温度 10℃～ 35℃、湿度 8%～ 80%（結露しないこと）

■ 本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

・落としたりぶつけたりしないよう、平らな十分な強度がある場所で使用してください。
・結露した状態で使用しないでください。誤動作、故障の原因になります。
・本機の上にものを載せないでください。また、通風孔をふさがないでください。
・本機のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
・本機を改造しないでください。当社の保証やサービス対象外になることがあります。
・先のとがったもので傷をつけないでください。
・ハードディスク、DVD、CD などにデータの記録中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
・静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。
・電源を入れたまま本機を動かさないでください。

■ DVD、CD ディスクを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

・データ面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。
・ディスクに先のとがったもので傷をつけないでください。
・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・汚れたディスクは使わないでください。
・ディスクが汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
・ベンジン、シンナーなどで拭かないでください。
・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
・使わないときは収納箱（または袋）に入れて保管してください。
・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

CHAPTER 1

電源を入れる前の準備

SECTION

1 パソコンに接続する

パソコン背面の各端子の説明をしています。

チェックポイント ☑パソコンの背面端子を確認する

背面端子一覧

AC 電源プラグ

電源ケーブルを接続する端子です。

主電源スイッチ

｜（通電）と○（電源断）を切り替えるスイッチです。

電圧切り替えスイッチ

日本国内では 115V に設定してください。

PS/2 マウス

PS/2 接続のマウスを接続します。

PS/2 キーボード

PS/2 接続のキーボードを接続します。

USB 端子

USB 機器を接続します。

ネットワーク（LAN）端子

LAN 用ネットワークケーブルを接続します。

IEEE1394 端子

IEEE1394 接続の機器を接続します。

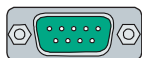
注意

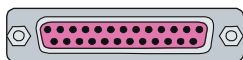
搭載されるマザーボードによって端子の数や配置が異なります

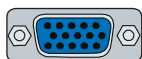
オーディオ端子

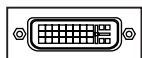
Line-In(水色)/Line-Out(緑)/Mic-In(ピンク) の各オーディオ端子です。

S/PDIF 端子（Coaxal : 左 /Optical : 右）

家庭用デジタル音声機器を接続します。

COM ポート

外付けモデムやターミナルアダプタなどを接続します。

プリンタ端子

パラレル接続のプリンタを接続します。

ディスプレイ端子

液晶 /CRT、各種ディスプレイを接続します。

DVI 端子

DVI 接続のディスプレイを接続します。

S 端子

外部映像出力に使用します。

※ピン数が異なる場合があり、使用するには専用のケーブルを接続する必要があることがあります。

外部 SATA 端子

外付け SATA 機器を接続します。

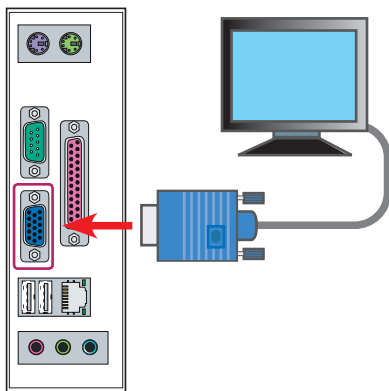
SECTION

2 パソコンの設置

AC 電源ケーブルやディスプレイなどを接続する手順を説明しています。

チェックポイント ☑各機器を接続する
☑電圧切り替えスイッチ・主電源スイッチを確認する

各機器を接続する

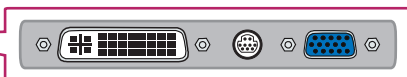
step 1 ディスプレイを接続する

ディスプレイ端子にディスプレイを接続します。

注意

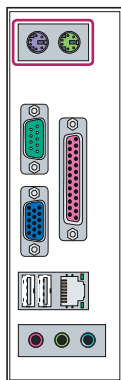
背面パネルの端子の配置、数は搭載されるマザーボードによって異なります。

DVI コネクタをディスプレイ端子に接続する場合、変換コネクタが必要な場合があります。

※ グラフィック（VGA）カード搭載機種のときは

パソコン本体の構成により、拡張スロットにディスプレイ端子がついている場合があります。この場合は、こちらの端子にディスプレイを接続してください。
上部にあるディスプレイ端子に接続をしても、画面は表示されません。

注意

グラフィックカードの端子の種類、数は搭載される製品によって異なります。

step 2 マウス・キーボードを接続する

PS/2 端子にマウス、キーボードを接続します。

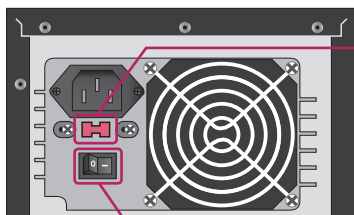
緑：PS/2 マウスを接続します
紫：PS/2 キーボードを接続します

注意

USB 接続のマウス、キーボードの場合は USB 端子に接続してください。

ワンポイント

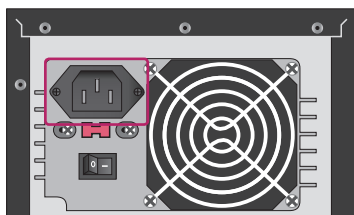
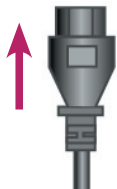
端子の色を合わせるように接続します。

step 3 電圧切り替えスイッチ・主電源スイッチを確認する

電圧切り替えスイッチを「115V」に設定

主電源スイッチを「|」（通電）に設定

注意

「115V」以外に設定し、電源を入れた場合、製品が破損することがあります。

step 4 電源ケーブルを接続する

電源ケーブルを接続します。

ワンポイント

電源は極力、壁または床のコンセントから直接取るようにしてください。

注意

周辺機器の接続は、初回起動確認が完了してから行ってください。

CHAPTER 2

各デバイスの動作

SECTION 3

起動と終了

電源の入れ方、および電源の切り方を説明しています。

チェックポイント
- ☑パソコン本体の電源は最後に入れる
- ☑スタートボタンから電源を切る

電源を入れる

step 1 ディスプレイの電源を入れる

電源ボタンを押す

step 2 パソコン本体の電源を入れる

電源ボタンを押す

ワンポイント

電源ボタンの位置はディスプレイ付属のマニュアルでご確認ください。

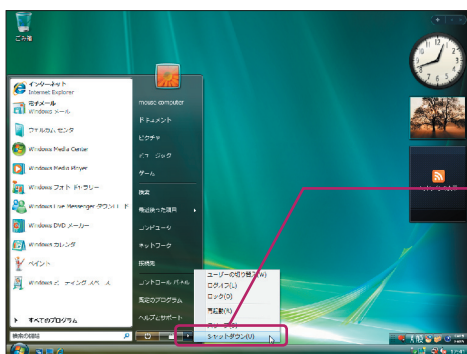
注意

図はLUVMACHINESシリーズです。その他の製品の電源ボタンの位置につきましては、同梱のファーストステップガイドをご確認ください。

電源を切る

step 1 スタートボタンをクリックする

「スタート」ボタンをクリック

step 2 シャットダウンをクリックする

1 ▶ にカーソルを合わせる

2 「シャットダウン」をクリック

step 3 ディスプレイの電源を切る

電源ボタンを押す

ワンポイント

キーボードの「Windows（ウィンドウズ）キー」を押した場合も同じ動作をします。

スリープにする

step 1 スタートボタンをクリックする

「スタート」ボタンをクリック

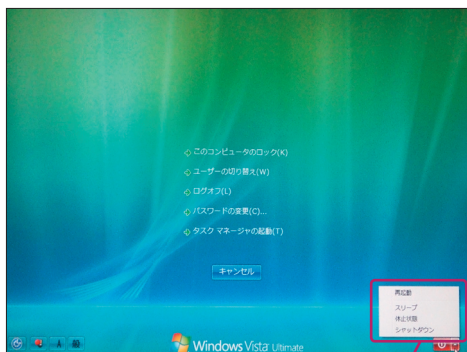
step 2 電源マークのボタンをクリックする

をクリック

ワンポイント

パソコン本体の電源ボタンを押すと再開できます。また、機種によってはキーボードの任意のキーを押すか、マウスを操作することでスリープ状態を解除できる場合もあります。

フリーズしてしまった場合には

step 1 【Ctrl】【Alt】【Delete】キーを同時に押す

「再起動」または「シャットダウン」をクリック

※ 表示されなかった場合は、「step2」へ進んでください。

ワンポイント

「フリーズ」とは、パソコンの動作が停止し、キーボードやマウスの操作を受け付けなくなってしまった状態のことです。

注意

「再起動」「シャットダウン」ともに動作しない場合は、「step2」を行ってください。

step 2 電源ボタンを長押しする（強制終了）

注意

この操作は緊急時以外行わないでください。システムが破損する恐れがあります。

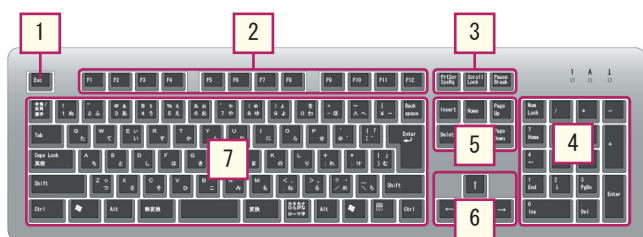
また、強制終了後は再度パソコンの電源を入れ、正常に起動することを確認してください。

SECTION 4

キーボード

キーボードの各部名称と機能を説明しています。

チェックポイント ☑各キーの名称と機能を確認する

概観

注意
製品によって形状や、キー配置が異なります。

各部の名称と機能

1 Esc（エスケープ）キー

設定の取り消しや、実行を中止するときに使用します。

2 ファンクションキー

F1 ～ F12

アプリケーションや OS によって機能を割り当てることができます。

3 Prt Scr（プリントスクリーン）キー

画面のハードコピーを取るときに使用します。

Scroll Lock（スクロールロック）キー

画面のスクロールをロックするときに使用します。

Pause/Break（ポーズ / ブレイク）キー

操作を一時的に止めるときに使用します。

4 テンキー

【NumLock】キーを押し機能をオンにすることで数字キーとして使用することができます。【NumLock】キーがオフの状態ではカーソルキーや【Home】【End】【PageUp】【PageDown】キーと同様の動作をします。

5

Insert（インサート）キー
文字の挿入 / 上書きを切り替えるときに使用します。

Delete（デリート）キー
カーソル直後の文字を削除します。

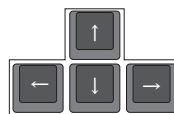
Home（ホーム）キー
カーソルを行の最初や文書の最初に移動させるときに使用します。

End（エンド）キー
カーソルを行の最後や文書の最後に移動させるときに使用します。

PageUp（ページアップ）キー
前のページに切り替えるときに使用します。

PageDown（ページダウン）キー
次のページに切り替えるときに使用します。

6 カーソルキー

カーソルを移動させるときなどに使用します。

7 特殊キー / 文字入力キー

1 半角 / 全角キー

日本語入力機能のオン・オフを切り替えます。

2 Tab キー

次の項目へカーソルを移動させます。【Shift】キーを押しながら【Tab】キー (Shift+Tab) を押すと、一つ前の項目へカーソルが移動します。文字入力時に押すと「タブ」が挿入され、カーソルが右へ移動します。

3 Caps Lock (キャプスロック) キー

入力する英字の大文字・小文字を切り替えます。【Shift】キーを押しながら【Caps Lock】キー (Shift+Caps Lock) を押すと、Caps Lock がオンになり、キーボード右上のランプが点灯します。解除するには同様の操作を行います。

4 Shift (シフト) キー

【Shift】キーを押しながら英字を入力すると、大文字・小文字が反転します。他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

5 Ctrl (コントロール) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

6 Windows (ウィンドウズ) キー

Windows 上の「スタートボタン」を押したときと同様の動作をします。また、他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

⑦ Alt（オルト）キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

⑧ スペースキー

空白の挿入や、文字変換などに使用します。

⑨ カタカナ / ひらがなキー

【Alt】キーを押しながら【カタカナ / ひらがな】キー（Alt+ カタカナ / ひらがな）を押すと、「ローマ字入力」と「かな入力」を切り替えることができます。

⑩ アプリケーションキー

マウスの右クリックに該当する機能があります。使用するアプリケーションにより動作は異なります。

⑪ Back Space（バックスペース）キー

カーソルの直前の文字を削除します。

⑫ Enter（エンター）キー

設定の決定や、アプリケーションの実行などに使用します。

⑬ 文字入力キー

アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。【Ctrl】【Alt】【Shift】キーなどと組み合わせて使用することにより、特殊な操作を行うことができます。

SECTION

5 マウス

マウスの各部名称、使い方を説明しています。

チェックポイント ☑マウスの基本操作

各部の名称

注意

製品によって形状は異なります。

マウスの基本操作

step 1 クリック（シングルクリック）

左ボタンを素早く押してはなします。

step 2 ダブルクリック

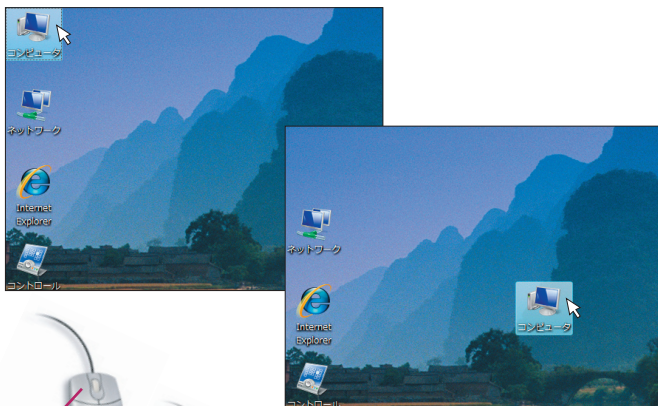
クリックを2回続けて行います。

ワンポイント

一般に「クリック」とは左ボタンのクリックのことを指し、右ボタンのクリックは「右クリック」と呼びます。

step 3 スクロール

ホイールを上、または下方向に回転させます。

step 4 ドラッグ＆ドロップ

左ボタンを押したままにして

左ボタンをはなす

ワンポイント

製品によっては左右のスクロール機能を持つものもあります。

注意

左図は表示設定の「自動整列」が「無効」になっています。

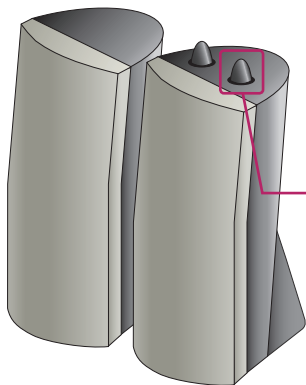
SECTION 6

スピーカー

スピーカーの接続、ボリューム調整などを説明しています。

チェックポイント ☑音量を下げてから電源を入れる

外付アクティブスピーカー（XX-118）

step 1 電源を入れる

step 2 音量を調整する

つまみを回す

左に回す：音量を下げます

右に回す：音量を上げます

注意

ボリュームが大きくなっていると突然大きな音が出る場合がありますので、あらかじめ音量を下げてください。

外付アクティブスピーカー（P202）

step 1 電源を入れる

step 2 音量を調整する

注意

ボリュームが大きくなっていると突然大きな音が出る場合がありますので、あらかじめ音量を下げてください。

注意

その他のスピーカーにつきましては、スピーカー付属のマニュアルをご参照ください。

SECTION 7

光学ドライブ

光学ドライブの扱い方を説明しています。

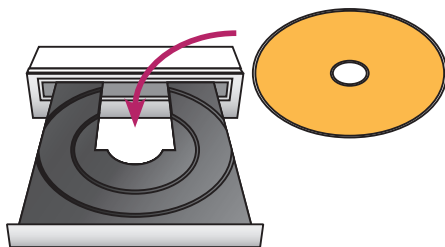
チェックポイント
- ☑ディスクを入れる・取り出す
- ☑強制的にトレイを開ける

ディスクを入れる・取り出す

step 1 イジェクトボタンを押してトレイを出す

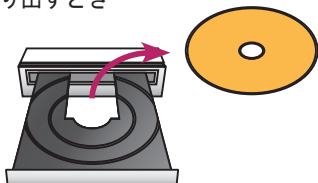
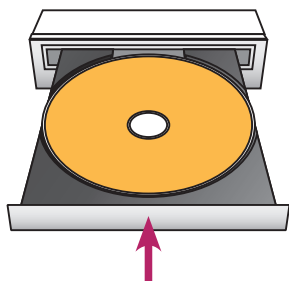
注意

図はLUVMACHINESシリーズです。その他の製品の電源ボタンの位置につきましては、同梱のファーストステップガイドをご確認ください。

step 2 ディスクを入れる・取り出す

※ 取り出すとき

注意

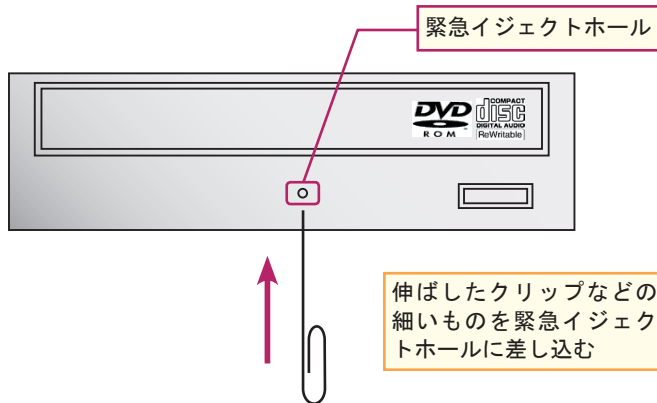
ディスクのデータ面（文字などが印刷されていない面）を下にしてください。
また、光学ドライブが縦向きに取り付けられている場合、ディスクがトレイから落ちないよう、トレイの爪に引っかかるようにディスクをセットしてください。

step 3 トレイを閉じる

トレイの前面を軽く押し込みます。

ワンポイント

トレイを少し押し込むと、自動的に閉まります。

強制的にトレイを開く

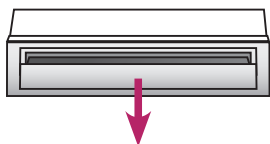
step 1 緊急イジェクトホールに伸ばしたクリップを差し込む

緊急イジェクトホール

伸ばしたクリップなどの細いものを緊急イジェクトホールに差し込む

注意

必ずパソコンの電源を切ってから行ってください。また、緊急時以外はこの作業を行わないでください。製品およびディスクが破損する恐れがあります。

※搭載されるドライブによって緊急イジェクトホールの位置は異なります。

step 2 トレイを手で引き出す

トレイが少し開いたら、手でトレイを引き出し、ディスクを取り出します。

SECTION

8 カードリーダー

カードリーダー搭載機種のみ

カードリーダーの取り扱い方を説明しています。

チェックポイント ☑メディアを入れる・取り出す

各部の名称

注意

搭載されるカードリーダーにより形状が異なります。

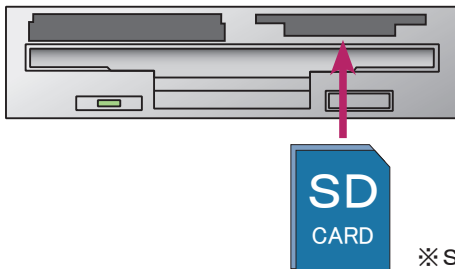
ワンポイント

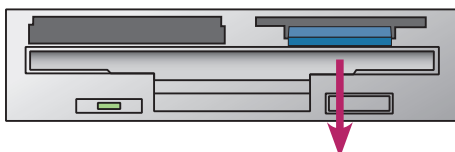
アクセス LED はメディアの有無、データ転送に関わらず点灯・点滅することがありますが、こちらは製品の仕様であり、不具合ではありません。

メディアを入れる・取り出す

step 1 メディアを入れる

メディアを挿入します。

※ＳＤカードの場合

注意
メディアを奥まで挿入できない場合、メディアの向きが上下逆さまの可能性があります。

step 2 メディアを取り出す

メディアを引き出します。

注意
必ずデータ転送が完了してから引き出してください。

メディアを取り出すとき、画面右下のタスクトレイに表示される「ハードウェアの安全な取り外し」（デバイスの停止）を行う必要はありません。こちらの作業を行うと、カードリーダー自体を停止することになり、再度使用するには再起動が必要となります。

ハードウェアの安全な取り外しは不要です。

CHAPTER 3

増設について

SECTION 9

増設時の注意事項

内部パーツ増設時の注意事項を記載しています。

チェックポイント ☑増設時の注意事項を守る

増設時の注意事項

増設に関するご案内は弊社サポート対象外です。増設を行う場合は以下の注意事項をよくお読みになり、ご了承いただいた場合のみお客様の責任において作業を行ってください。

注意

- 内部パーツの取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
  感電の恐れがあります。
- 電源ユニット（背面側にある箱の形状をした装置）は分解しないでください。
  故障や破損、感電の恐れがあります。
- 内部のケーブル類や装置を傷つけたり、加工したりしないでください。
  故障や破損の原因になります。
- 電源を切った直後はパソコン内部の装置が熱くなっています。内部パーツの取り付けや取り外しを行う場合は、電源を切ったあとしばらく待ってから作業を開始してください。
  けが・やけどなどの恐れがあります。
- 内部パーツを取り扱う前に金属物に触れて静電気を放電してください。
  故障や破損の原因になります。

注意

■ 基板表面や半田づけの部分に触れないよう、基板の縁や金属の部分を持つようにしてください。
けがをする恐れがあり、また故障や破損の原因になります。

■ ケース内にクリップなどの異物を入れないでください。
故障や破損、火災や感電の恐れがあります。

■ 内部パーツは製品の規格にあったものを使用してください。
故障や破損の原因になります。

■ ねじの大きさにあったドライバーを使用してください。
ねじ山がつぶれることがあります。

■ 一度に複数の機器の増設は行わず、ひとつずつ行ってください。
ドライバのインストールなどが正常に行われない場合があります。

■ 取り外したスロットカバーは大切に保管してください。また拡張カードを取り外した場合は、スロットカバーを取り付けてください。
ケース内にゴミや異物が入らないようにしてください。

■ 内部パーツで手や指を切らないようご注意ください。

※重要※

増設が原因による故障や破損、事故等、また増設機器との相性につきましては保証対象外となります。これらによる損害につきましては一切補償をいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

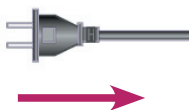
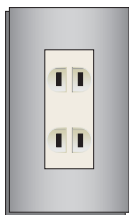
SECTION 10

メモリの増設

メモリの増設手順を説明しています。

チェックポイント
- ☑コンセントを抜いてから作業を行う
- ☑静電気に注意する

メモリを取り付ける

step 1 電源ケーブルをコンセントから抜く

コンセントを抜きます。

注意

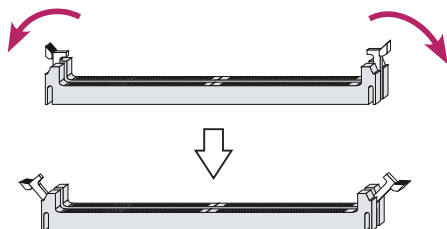
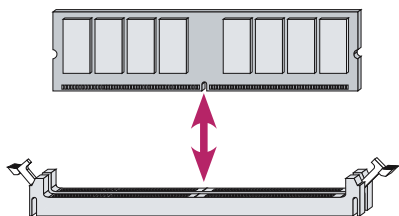
必ずパソコンの電源を切ってからコンセントを抜いてください。
ケーブルはプラグ部分を持って抜いてください。

step 2 ケースを開ける

ケースの開け方につきましては、弊社サポートページ(Web)をご参照いただくか、サポートセンターまでお問い合わせください。

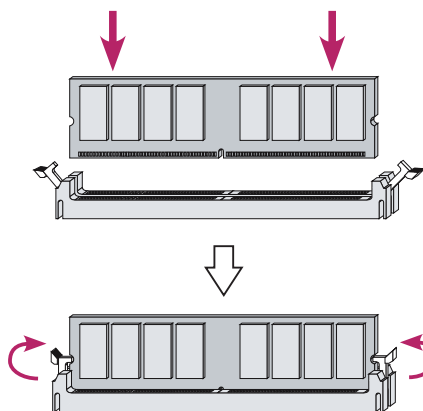
注意

パソコンの内部パーツに触れる際は、あらかじめ金属に触れるなど体内の静電気の放電を行ってください。静電気により内部パーツが破損する恐れがあります。

step 3 メモリスロット両側のフックを外側に開く

step 3 切り込みの位置を確認する

間違った向きで差し込みできないよう、中央付近に切り込みが設けられています。

注意

対応しているメモリの規格は、弊社サポートページ（Web）をご参照いただくか、サポートセンターまでお問い合わせください。

step 4 メモリスロットにメモリを差し込む

矢印の位置を上から押し込む

メモリの水平を保ちながらスロットに差し込みます。

フックで固定される

注意

メモリを奥まで差し込むと自動的にメモリスロット両側のフックで固定されます。

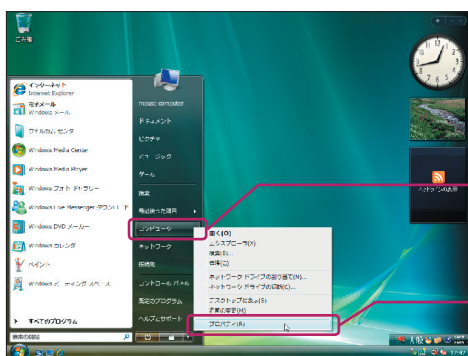
※メモリを奥まで差し込んでもフックで固定されない場合は、指でフックを固定させてください。

メモリ増設後、パソコンが起動しなくなってしまったり、正常な容量が認識していない場合、正常にメモリが差し込まれていない可能性があります。その場合はメモリの挿し直しをお試しください。

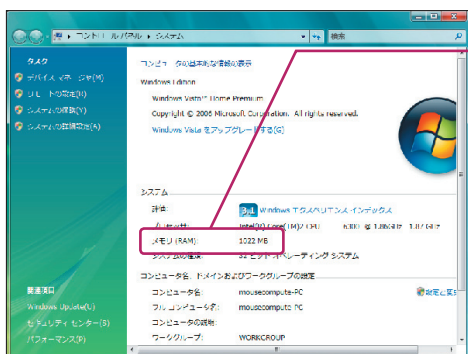
メモリ容量を確認する

step 1 スタートボタンをクリックする

「スタート」ボタンをクリック

step 2 コンピュータのプロパティを開く

1 「コンピュータ」を右クリック

2 「プロパティ」をクリック

step 3 メモリ容量を確認する

「メモリ（RAM）」の数値を確認

注意

メモリ容量は、実際の搭載容量より数MB（メガバイト）少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

CHAPTER 4

パソコンのメンテナンス

SECTION

11 パソコンを掃除する

パソコンのお手入れの仕方を説明しています。

チェックポイント
- ☑乾いた布、またはよくしぼった布を使用する
- ☑有機溶剤は使用しない

準備するもの

■ 軽い汚れのとき
・乾いたきれいな布

■ 汚れがひどいとき
・水かぬるま湯を含ませてよくしぼった布

※注意※

シンナーやベンジンなど揮発性の有機溶剤は使用しないでください。また、これらの有機溶剤を含む科学ぞうきんも使用しないでください。製品を傷め、故障の原因になります。

ワンポイント

OA 用クリーニングキットや薄めた中性洗剤などがあると便利です。

注意

水やぬるま湯などの液体をパソコン本体や周辺機器に直接かけないでください。故障の原因になります。

パソコン本体・周辺機器の掃除

step 1 外側の汚れをふき取る

以下の製品は、やわらかい素材の乾いた布で拭いてください。また、汚れがひどい場合は水がぬるま湯を含ませ、よくしぼってから拭いてください。
また、薄めた中性洗剤を使用して拭いた場合は、水かぬるま湯を含ませよくしぼった布で二度拭きしてください。

・パソコン本体　・キーボード
・マウス　・ディスプレイの画面以外の部分

ディスプレイ表面は乾いた布でなでるように拭いてください。

注意

必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。感電の恐れがあります。

ワンポイント

キーボードのキーとキーの間など、細かい部分は綿棒を使用するときれいにほこりが取れます。

注意

固いものでこすったり、強く押さえつけたりすると、故障や破損の原因になります。

お問い合わせ先一覧

お問い合わせの際は、下記窓口へご連絡ください。
お電話・FAX はおかけ間違いのないよう、ご注意ください。

■ 技術的なお問い合わせ

マウスコンピューター　サポートセンター

■ お電話によるサポート

0570-05-1105　※ 通話料はお客様負担になります。

■ 電話サポート予約　※ ユーザー登録が必要です。

https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support/index.asp

※ 上記サポートページからログインしていただき、ご予約ください。

■ FAX によるサポート

0480-36-1135

■ メールによるサポート

https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support/e_sup1.asp

※ 受付時間：24 時間受付